取扱説明書	RN-A024PA-CHLA　＜RTS-4600GFSH-L＞ RN-A024PA-CHRA　＜RTS-4600GFSH-R＞	1673852 1671853	13011

保証書付

ガステーブル

取扱説明書

あげルック

品名
RN-A024PA-CHLA 機器コード…1673852
RN-A024PA-CHRA 機器コード…1671853

家庭用

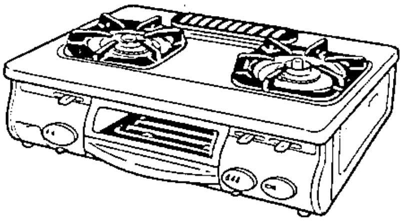
型式名	RTS-4600GFSH-L RTS-4600GFSH-R

よく読んで
安全に正しく
お使いください。

もくじ　ページ

安全上のご注意（必ずお守りください。）　1
各部のなまえ　6
機器の設置　6
コンロ・グリルの使いかた　9
コンロ・グリルを上手に使うには　10
各装置・電池確認ランプについて　13
お手入れのしかた　14
故障かな？と思ったら　16
アフターサービス・仕様　17
保証書　18

天ぷら油過熱防止機能付



ご愛用の皆様へ
このたびはグリル付ガステーブルをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- ●ご使用の前にこの取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。
  また付属の保証書も必ずお読みいただき、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- ●幼いお子様にはさわらせないでください。
- ●本製品は家庭用ですので業務用のような使いかたをすると著しく寿命が縮まります。
- ●この機器は国内専用ですので海外で使用しないでください。
- ●取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはもよりの「東京ガス」にて再購入してください。

TOKYO GAS

1 安全上のご注意 必ずお守りください

〈安全に正しくお使いいただくために〉

この製品および取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために重要な内容を説明しています。次のような表示と意味の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

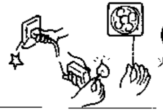
絵表示について次のような意味があります。

⚠ 一般的な危険 警告 注意	火気厳禁	⃠ 一般的な禁止
● 必ず行う	触れるな	分解禁止

⚠危険

■ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



火気厳禁

■ガス漏れに気づいたらすぐに使用を中止する。

①すぐに使用を中止しガス栓を閉める。
②窓や戸を開けガスを外へ出す。
③販売店、ガス事業者へ連絡する。

使用禁止

⚠警告

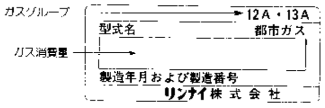
■使用ガスと、銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）が合っていることを確認する。
■転居されたときにも使用ガスと銘板の表示が合っているか確認する。

ガス種(ガスグループ)を確認

使用ガスと合っていない場合、そのまま使用すると不完全燃焼により一酸化炭素中毒の原因になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また故障の原因にもなります。銘板は機器の右側面に張ってあります。

使用ガスがわからない場合はお買い上げの販売店、もしくはもよりの「東京ガス」にご連絡ください。

〈例〉 銘板（12A・13Aの場合）



2

⚠警告

■火をつけたまま機器から離れない。

火をつけたまま離れたり、おやすみになることは禁止します。

特に天ぷら、揚げ物をしているときは危険です。電話や来客などの場合は、いったん火を消す。

料理中のものが焦げたり燃えたりして火災になる場合があります。

禁止

■燃えやすい物を近くに置かない。
■可燃性ガスを近くで使用しない、置かない。

カーテンなど燃えやすいものを近づけたり、スプレー缶・ガソリン・ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くに置いたり、使用しない。機器の下に新聞紙やビニールシート等の可燃物を敷かない。引火し火災や爆発をおこすことがあります。

禁止

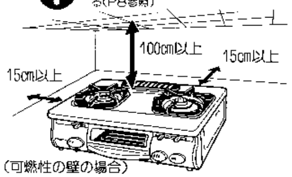
■設置するときは可燃物との距離を確実に離す。

火災予防条例で定められております、必ず守ってください。距離が近いと、火災の原因になります。また、可燃性の壁にモルタル、タイル、ステンレス板などを、直接取り付けてご使用になっても、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。

■機器を設置した後周辺の改装をしない。

設置後吊戸棚などをつけると可燃物との距離が守れなく火災になることがあります。

・可燃物との距離を確実にとる（下図参照）
・守れない場合は別売の防熱板を取り付ける（P8参照）



（可燃性の壁の場合）

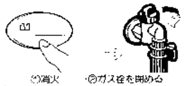
■排気口をふさがない。

排気口の上をなべ・アルミはく・ふきんなどでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。

禁止

■地震、火災、または使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する。

あわてず消火しガス栓を閉める。『故障かな？と思ったら』（P16）を参照ください。



ガス栓を閉める

■機器に手を加えない。

お手入れのしかた（P14･15）以外の部品は、絶対に分解したり修理・改造は行わない。ガス漏れや火災の原因になります。

分解禁止

■幼いお子様だけで使わせない。

けがや やけどをする恐れがあります。

禁止

⚠注意

■ゴム管は機器に触れたり、下を通さない。また、炎に近づけない。

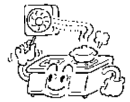
ゴム管は、折れ、ねじれのないようにできるだけ短く（2m以下で適当にゆとりをもたせる）、また機器の下を通したりグリル排気口の上を通さない。

機器本体に触れたり、他の機器で過熱されるような所も通さない。

禁止

■使用中は換気をする。

ご使用と同時に窓をあけたり換気扇を回すなど必ず換気をしてください。他の燃焼機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

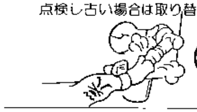


換気扇を回す 窓をあける

3 安全上のご注意 必ずお守りください

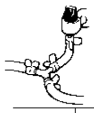
⚠注意

■古いゴム管は使わない。
ガス漏れの原因になります。古くなるとひび割れや差し込み口がゆるくなりますので、ときどき（6ヶ月に1回以上）点検し古い場合は取り替える。



禁止

■ゴム管の継ぎたし二又分岐はしない。
ガス漏れの原因や使用誤りなどの原因となり危険です。

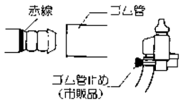


禁止

■ガス用ゴム管以外は使わない。
ガス漏れの原因となります。ガスソフトコードなどのガス用ゴム管（検査合格またはJISマークの入っているもの）を使用してください。

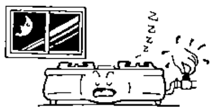
確認

■ゴム管は確実に接続。
ホースエンドの赤線まで差し込みゴム管止めで止める。ゴム管が抜けかけたりすると、ガス漏れ・爆発の原因になります。



確認

■使用後は必ず消火を確認する。
■外出やおやすみ前はガス栓を閉める。
ガス事故防止のために必ず行なってください。

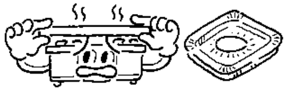


ガス栓を閉める

■調理以外に使わない。
火災や焼損の原因になります。衣類の乾燥や練炭の火起しなどしない。
衣類などが落下して火災になることがあります。

禁止

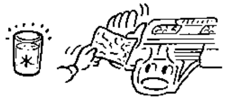
■炎をふさいだり、コンロをおおわない。
■市販の補助具（アルミはく製しる受け、補助ごとくなど）は使用しない。
この機器の付属品あるいは指定のもの以外は使用しない。コンロをおおうような鉄板類は34cm以上のなべは使用しない。不完全燃焼や過熱による一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



禁止

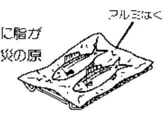
■グリル水入れ皿に必ず水を入れて使う。
水入れ皿に水がない場合は、たまった脂が過熱され発火し火災の原因になります。続けて使用する時は、そのつど水をたしてください。水以外のものは入れないでください。

■グリル庫内に食品屑やふきんなどないことを確認する。
使用中に燃え火災の原因になります。



必ず水を入れる

■グリル焼網の上にアルミはくを敷かない。
アルミはくの上に脂がたまり発火し火災の原因になります。



禁止

■点火操作を繰り返すときは周囲にガスがなくなるまで待つ。
たまったガスに着火しやけどをする原因になります。

周囲にガスがなくなってから点火

■車両、船舶での使用はしない。
使用中に機器が傾いたりして、火災ややけどの原因となります。

禁止

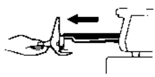
4

⚠注意

■使用中、使用直後は、ボタン・グリルとびら取っ手・つまみ以外はさわらない。
使用中・使用直後は、ボタン・グリルとびら取っ手・つまみ以外は高温です。さわらないでください。特に幼いお子様がいる家庭ではやけどに注意してください。

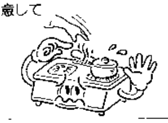
触れるな

■グリルとびらの出し入れはゆっくり確実に。
水平にゆっくり出し入れしてください。グリルとびらを引き出すとき持ち上げたまま引き出すと途中で止まらず落下し、お湯がこぼれてやけどすることがあります。こぼれない様に注意してください。



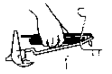
ゆっくり確実に

■グリル排気口に手や顔などを近づけない。
■なべの取っ手を排気口に向けない。
グリルを使うとき排気口から高温の排気がでます。やけどに注意してください。



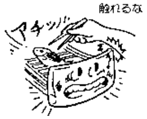
禁止

■グリル水入れ皿だけを持って取り外さない。
グリルとびらが落下しけが・やけどをすることがあります。ぬれぶきんなどで持ってもやけどの原因になります。必ずグリルとびら取っ手を持って取り外してください。



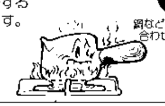
禁止

■魚を裏返す・取り出す時手や腕がグリルとびらやガラスに触れない。
グリルとびらやガラスは高温になっています。やけどに注意してください。



触れるな

■やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する。
火力が強いとやかん、なべなどの取っ手が焼損したり、手に触れるとやけどをする原因になります。

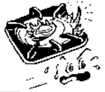


鍋などの大きさに合わせ火力調節

■グリルとびらガラスに水をかけない・衝撃を加えない・傷をつけない。
ガラスが割れてけが、やけどの原因になります。また、とびらが変形したり、閉まらなくなります。

禁止

■しる受け皿はバーナーキャップにのせたり斜めにしてセットしない。
バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。



確認

■点火操作をするときはバーナー・グリル排気口付近に顔を近づけない。
炎や熱でやけどをすることがあります。

禁止

■バーナーキャップを水洗いしたときは水気をじゅうぶん切ってからセットする。
炎口が詰ったまま使用すると異常燃焼の原因になります。

水を切る

■コンロ使用時は体の一部や衣服をバーナーに近づけない。
衣服に炎が移ったりしてけが、やけどをする原因になります。

禁止

■機器本体内部をお手入れする場合、各部品の突起物などに注意する。
強く当たった場合手などをけがする場合があります。

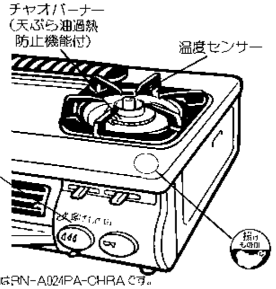
必ず手袋をしてお手入れする

5 安全上のご注意 必ずお守りください

天ぷら油過熱防止機能付バーナーの場合

天ぷら油過熱防止機能とは天ぷら、フライなどの揚げもの調理で、消し忘れ、電話応対等による調理油の過熱を防止する機能です。
温度センサーでなべ底の温度を監視し、油が自然発火温度に達する前に自動的にガスを止めます。

※天ぷら油過熱防止機能がついているバーナーは右図のように前面パネルに揚げもの用とトップブレート上面に（揚げもの用）の表示ラベルと表示してあります。


チャオバーナー
（天ぷら油過熱
防止機能付）
温度センサー
揚げもの用

図はRN-A024PA-CHRAです。
RN-A024PA-CHLAはチャオバーナーと標準バーナーが左右、逆になっています。

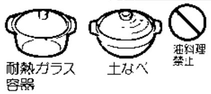
⚠注意

■揚げもの調理をされるときは、必ずチャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）を使用してください。

⚠警告

■チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）では耐熱ガラス容器、土なべなど熱が伝わりにくいものでの油料理はしない。

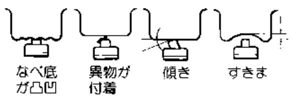
天ぷら油過熱防止機能が働かず、やけどや火災の原因になります。


耐熱ガラス
容器
土なべ

油料理
禁止

■温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない。

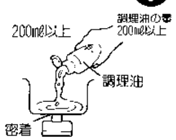
- そのまま使用すると調理油の量に関係なく発火することがあります。
- なべ底と温度センサーが密着しない場合は、点検・修理を依頼してください。


なべ底
が凸凹
異物が
付着
傾き
すきま

禁止

■チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）で使用する調理油の量は200mℓ以上入れる。

調理油の量がはじめから少なかったり、減ってきたりすると発火することがあります。
また200mℓ以上でもなべ底と温度センサーの上面が密着していないと発火することがあります。

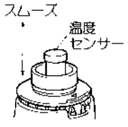

200mℓ以上
調理油の量
200mℓ以上
調理油
密着

⚠注意

■温度センサーは、上下にスムーズに動くことを確認する。

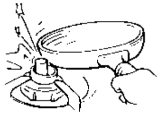
なべ底と密着しなくなり調理油が発火する場合があります。
また、動きが悪いとなべなどが傾き、お湯などがこぼれやけどをする原因にもなります。なべの重さは調理物を含め300g以上が必要です。

スムーズ
に動く


スムーズ
温度
センサー

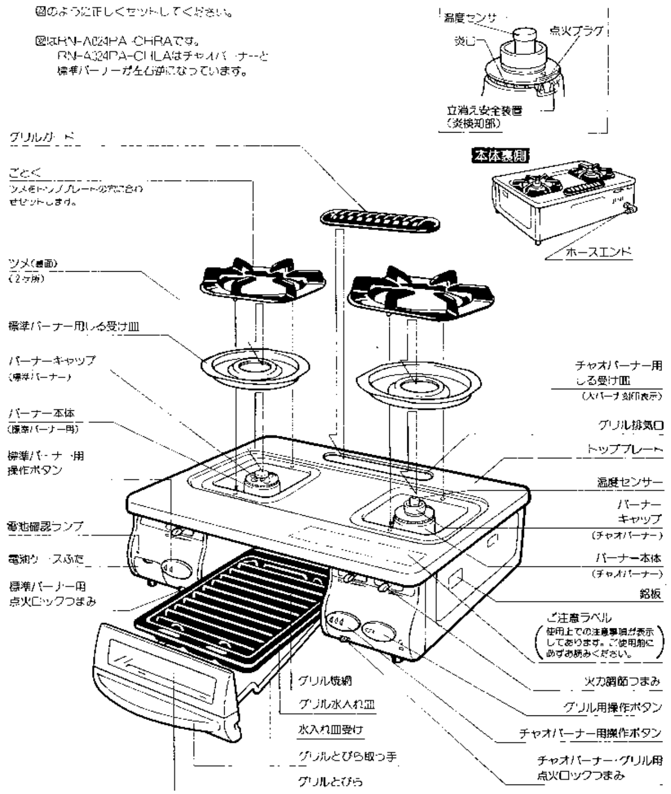
■温度センサーに強いショックを加えたりキズをつけない。

なべ底が温度センサーと密着しなくなり、温度センサーが正しく作動しない場合、調理油が発火する場合があります。



禁止

各部のなまえ・機器の設置 6



図のように正しくセットしてください。

図はRN-A024PA-CHRAです。
RN-A024PA-CHLAはチャオバーナーと標準バーナーが左右逆になっています。

ごとく
ツメをトップブレートの穴に合わせセットします。

ご注意ラベル
（使用上での注意事項が表示してあります。ご使用前に必ずお読みください。）

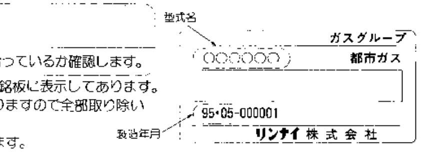
温度センサ
炎口
点火プラグ
立消え安全装置
（炎検知部）
本体裏側
ホースエンド
グリルガード
ツメ（裏面）
（2ヶ所）
標準バーナー用しる受け皿
バーナーキャップ
（標準バーナー）
バーナー本体
（標準バーナー用）
標準バーナー用
操作ボタン
電池確認ランプ
電池ケースふた
標準バーナー用
点火ロックつまみ
チャオバーナー用
しる受け皿
（大バーナ刻印表示）
グリル排気口
トップブレート
温度センサー
バーナー
キャップ
（チャオバーナー）
バーナー本体
（チャオバーナー）
銘板
火力調節つまみ
グリル用操作ボタン
チャオバーナー用操作ボタン
チャオバーナー・グリル用
点火ロックつまみ
グリル焼網
グリル水入れ皿
水入れ皿受け
グリルとびら取っ手
グリルとびら

設置前の準備と確認

⚠警告

機器銘板のガス（ガスグループ）と使用ガスが合っているか確認します。

- 型式名、ガス種、製造年月日は機器右側面の銘板に表示してあります。
- 輸送のため各部分にあて紙や包装部材がありますので全部取り除いてください。
- 付属品の単１形乾電池2個が同梱されています。

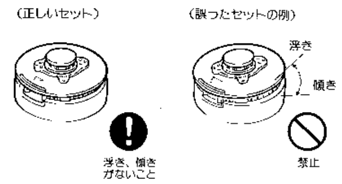

型式名
ガスグループ
○○○○○○
都市ガス
95・05-000001
製造年月
リンナイ株式会社

7 機器の設置

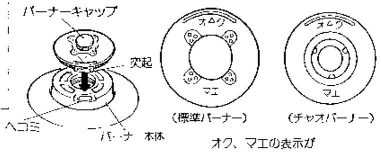
部品の取り付け

バーナーキャップ

「オク」印を奥側にして、バーナーキャップの突起部とバーナー本体のヘコミに正しくはめ込みます。キャップが浮いたり傾いたりしていると炎が不ぞろいになったり異常燃焼などが起こる場合もあります。


（正しいセット）
（誤ったセットの例）
浮き
傾き
浮き、傾きがないこと
禁止

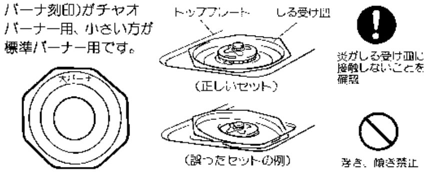
お願い バーナーキャップは消耗品です。薄くなったり、変形して炎が不ぞろいになった場合は、交換が必要ですので、お買い上げの販売店またはもよりの「東京ガス」にお問い合わせください。


バーナーキャップ
突起
ヘコミ
バーナ 本体
オムク
マエ
（標準バーナー）
（チャオバーナー）

オク、マエの表示がしてあります。

しる受け皿

内側の穴の大きい方(大バーナ刻印)がチャオバーナー用、小さい方が標準バーナー用です。


大バーナ
トッププレート
しる受け皿
（正しいセット）
（誤ったセットの例）
炎がしる受け皿に接触しないことを確認
浮き、傾き禁止

⚠注意

■**しる受け皿はバーナーキャップにのせたり、斜めにしてセットしない。**
バーナーの炎がしる受け皿の下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。

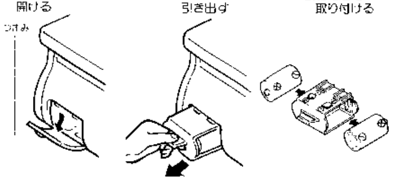
■**アルミはく製しる受け皿を使用しない。**
炎が接触し異常過熱や不完全燃焼の原因になります。
また点火不良や途中消火の原因になります。

単1形乾電池・2個(付属品)

電池ケースはコンロ前面の左側にあります。つまみを下げながら引くとふたが開き、電池ケースが取り出せます。⊕と⊖を確認して、しっかりと乾電池を入れて電池ケースを機器本体に確実に差し込んでください。電池ケースのふたは、必ず閉めてください。

お願い
- 乾電池の寿命は、通常約1年を目安としてください。乾電池は必ず2個とも同種類の新品をご使用ください。
- 付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自然放電のため寿命が短い場合があります。

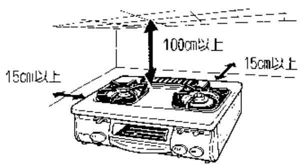
1.電池ケースのふたを開ける
2.電池ケースを引き出す
3.乾電池を取り付ける



設置場所および周囲の防火措置

お願い

■次のような場所に設置してください。
- 強い風の吹き込まない場所・丈夫で水平な場所
- 落下物の危険のない場所
- 付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
- 機器の上に樹脂製の照明器具のない場所
- 機器の上に湯沸器のない場所
- ガス栓が機器を使用した場合過熱されない場所

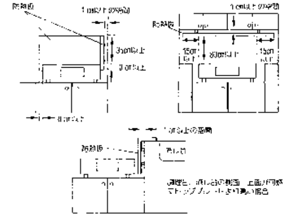

100cm以上
15cm以上
15cm以上

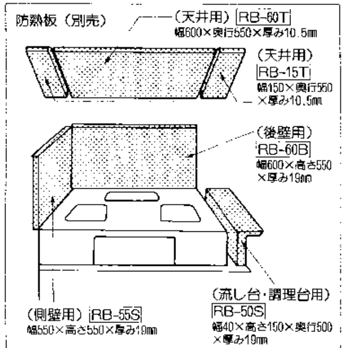
機器の設置 8

必ず行う

周囲に可燃物（木製の壁、たななど）のある場所はつぎのようにしてください。
- トッププレートより上の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離して設置します。

可燃性の壁（モルタル、タイル、ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む）から15cm以上、また、上部はトッププレート上面から100cm以上離して設置できない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。


防熱板
1cm以上のすき間
30cm以上
15cm以上
80cm以上
1cm以上の隙間
流し台

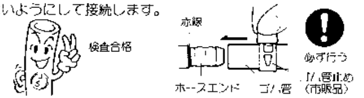

防熱板（別売）
（天井用）RB-60T
幅600×奥行550×厚み10.5mm
（天井用）RB-15T
幅150×奥行550×厚み10.5mm
（後壁用）RB-60B
幅600×高さ550×厚み19mm
（側壁用）RB-55S
幅550×高さ550×厚み19mm
（流し台・調理台用）RB-50S
幅40×高さ150×奥行500×厚み19mm

- お買い上げの販売店またはもよりの「東京ガス」にお問い合わせください。
- 指定の防熱板以外は絶対に使用しない。

ゴム管の接続

（ゴム管に接続する場合）

ゴム管はソフトコードなどのガス用ゴム管（内径9.5mm、JISマーク入り）を用い、折れたりねじたりしないようにして、できる限り短く（2m以下で適当にゆとりをもたせる）ガス栓と機器のホースエンドとを接続します。このときゴム管は赤線までしっかり差し込みゴム管止めで固定してください。また機器に触れないようにして接続します。

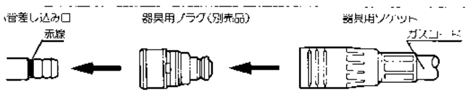

検査合格
赤線
ホースエンド
ゴム管
ゴム管止め（市販品）
必ず行う

⚠注意

■**ゴム管は機器に触れたり、下を通さない、また炎やグリル排気口に近づけない。**
使用時は周囲が高温になりゴム管がとけてガス漏れを起こすことがあります。

（ガスコードなどでコンセントに接続する場合）

●**ガス機器側の接続** ―― 機器のゴム管差し込み口をコンセント化してガスコードでコンセント接続する場合


機器のゴム管差し込み口
赤線
器具用プラグ(別売品)
器具用ソケット
ガスコード

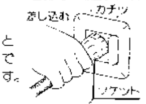
上図のように、先ず別売の器具用プラグを器具用プラグ梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明に従って機器のゴム管差し込み口に取付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用プラグに"カチッ"と音がするまで押し込みます。

●**ガス栓側の接続**

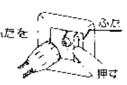
「ガスコンセント」は、ガスコードなどを取付けると自動的に開栓し、取外すと自動的に閉栓します。

◆ふたを開ける
ふたの右端を押します。

◆取付ける
"カチッ"と音がするまで差し込みます。

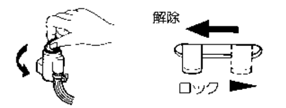

差し込む
カチッ
ソケット

◆取外す
右端にあるふたを押します。



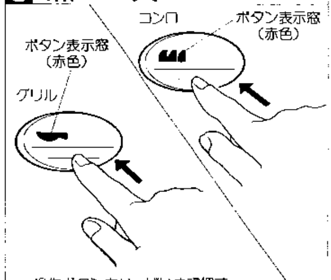
9 コンロ・グリルの使いかた

1 準　備



ガス栓を開く　点火ロックを解除します

2 点　火


ボタン表示窓（赤色）
グリル
コンロ
ボタン表示窓（赤色）

操作ボタンをいっぱいまで押す。

お願い
- ●操作ボタンは必ずいっぱいに押してください。途中で操作ボタンから手を離すと点火しません。
- ●バーナーへ火移りしたことを確かめてから数秒間（立消え安全装置が働くまで）そのまま押し続けてください。

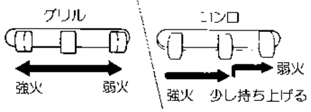
●火力調節つまみの位置が「弱」のとき操作ボタンを押すと「強」の方向に移動します。

●点火時は全バーナーとグリルが同時に「パチパチ」と放電する構造ですので異常ではありません。

⚠注意

※万一、点火しないときは操作ボタンを一旦消火の状態に戻し、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をしてください。

3 火力調節



火力調節つまみを左右にゆっくりスライドさせ火力を調節します。

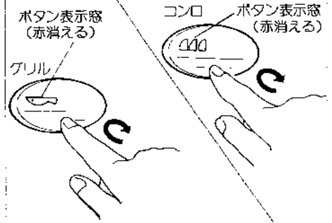
⚠注意

■なべによっては、取っ手を焼損するおそれがあります。必ず炎の大きさを見て火力を調節してください。

●（グリル）焼き具合は火力強・弱、グリル焼網の高低で調節してください。

●（コンロ）弱火にした時、バーナー中央に近い穴の火が消えることがありますが、異常ではありません。（標準バーナー）

4 消　火


ボタン表示窓（赤消える）
グリル
コンロ
ボタン表示窓（赤消える）

操作ボタンを押して消火する。

●必ず火が消えたことを確認してください。

お願い　幼いお子様のいたずらによる火災防止やガス漏れ防止のため、こんろから離れるときは念のためお部屋のガス栓を閉めてください。

コンロ・グリルを上手に使うには 10

コンロ　用途に応じてバーナーを使用しましょう

■チャオバーナー　天ぷら油過熱防止機能付

天ぷら、フライなど揚げものの調理、煮もの調理に使用します。

■標準バーナー

焼きもの料理や炒めもの料理など、高温を必要とする調理、煮もの料理、冷凍食品の再加熱。

お願い　天ぷら油過熱防止機能が付いたチャオバーナーは、設定温度になると自動消火します。このため焼きもの料理や炒めもの料理などのより高温を必要とする料理では、途中で消火してしまうことがあります。また冷凍食品（うどん・そばなどのなべ付きの冷凍インスタント食品、カレー・シチューなどのなべごと凍らせた場合など）は、温度上昇が遅いため温度センサーが正しく機能しないことがありますので標準バーナーをお使いください。

■煮こぼれに注意

機器を早くいためます。

■やかん、なべなどの大きさにあわせて火力を調節する

ガスのムダ・取っ手を焦がす原因になります。

■使用中はときどき炎の確認

チャオバーナー（天ぷら油過熱防止機能付）の使いかた

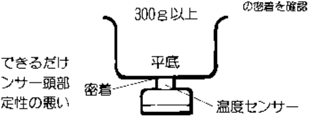
調理油の量

200mℓ以上で使用してください。少ないとセンサーが正しく調理油の温度を測定できません。

なべの重さとのせかた

なべの重さは調理物の重さを含め300g以上が必要です。できるだけ底が平らな金属製のなべを使い、なべ底の中心が温度センサー頭部に密着するよう、正しくセットしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。

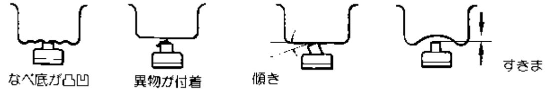
なべ底と温度センサーの密着を確認



⚠警告

■温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない

そのまま使用すると調理油が発火することがあります。



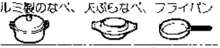
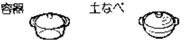
禁止

■調理油の量は200mℓ以上入れる

調理油の量がはじめから少なかったり、減ってきたりすると発火することがあります。

11 コンロ・グリルを上手に使うには

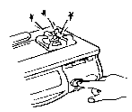
（温度センサーに適したなべ）

なべなどの種類		油料理	その他料理（煮物など）	備考
鉄、アルミ製のなべ、天ぷらなべ、フライパン 		○	○	油料理をする場合に温度センサーが正しく作動しますが、油の量が200mℓ以下の場合発火することがありますので注意してください。
ステンレスやホーロー製のフライパン・なべ		×	○	油料理において温度センサーが調理油の温度を正確に読みとることができず、油の量が200mℓ以上でも発火する場合があります。注意して使用してください。
中華なべ、打ち出しなべ		×	○	
耐熱ガラス容器　土なべ 		×	○	油料理には適していません。センサーが正確に働きませんので火をつけたままにしておくと発火します。油料理には使用しないでください。
無水なべ	無水料理	—	○	油の量が少ないと発火する場合があります。また、無水料理においてセンサーが正確に働かず消火する場合があります。
	無水料理以外	×	○	
焼き網		—	×	センサーが正確に働きませんので消火する場合があります。標準バーナを使用してください。

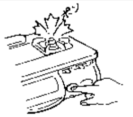
○：適する　×：適さない

お願い　コンロバーナーで魚焼き・鉄板焼などをしますとトッププレート、しる受け皿などが変色したりします。又トッププレートがフッ素コートされていますのでフッ素コートがはがれることがあります。

こんなときは異常ではありません



●点火しにくい
はじめて使用するとき、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。点火操作を繰り返してください。

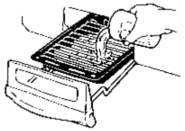


●消火の時、音がする
消火時に「ボン」という音がすることがありますが、これは火が消えたときの音で異常ではありません。

グリル

はじめて使用するときはから焼きが必要

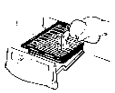
工場出荷時の加工油を焼ききるためグリル水入れ皿に水を入れて約15分から焼きをしてください。
この時煙がでますが、異常ではありません。



⚠注意

■グリル水入れ皿は必ず水（約200mℓ）を入れて使う。たまった油脂は取り除く。

水がない場合たまった油脂が過熱されて発火しグリル排気口より炎が出ることがあります。
続けて使用する場合もそのつど油脂を取り除き水を入れてください。



そのつど水を入れる
油脂を取り除く

■グリル使用前にグリル庫内に食品くずやふきんなどがないことを確認する。

食品くずやふきんが燃えあがることがあります。

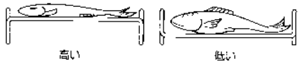
確認

コンロ・グリルを上手に使うには 12

グリルで上手に焼くには

グリル焼網の高低

表裏で焼網の高さが変えられます。焼き物の大きさ、種類により高低を選んでください。



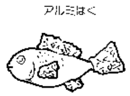
予熱が必要

あらかじめ3～4分予熱しておくときれいに焼きあがります。

つけ焼き・照焼などのこげつきやすいもの、火の通りの悪い身の厚い魚などは、予熱せずに焼いてください。

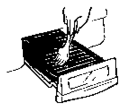
魚の尾やヒレは？

こげやすい魚の尾やヒレはアルミはくで包んだり、厚めに塩をふりかけたりします。



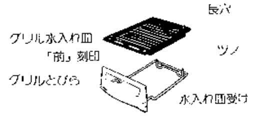
グリル焼網に油

グリル焼網にサラダ油などを塗っておくと焼き上がり後材料が焼網に付着しにくく取り出しやすくなります。

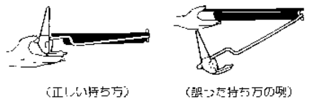


グリルの出し入れ

正しいセットのしかた



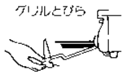
取り出したり持ち運ぶとき


（正しい持ち方）
（誤った持ち方の例）

禁止

引き出すとき

●グリルとびらを止まるところまでいっぱいに引き出すと、グリルとびらだけが下がり、焼き物の出し入れ、反転、確認がかんたんに行えます。

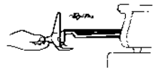


●グリル水入れ皿を取り出すときは、グリルとびらを止まるところまでいっぱいに引き出してから、そのまま持ち上げて取り出します。このとき、グリル水入れ皿を直接持って取り出さないでください。

⚠注意

■グリルとびらの出し入れはゆっくり確実に。

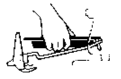
水平にゆっくり出し入れしてください。グリルとびらを引き出すとき持ち上げたまま引き出すと途中で止まらず落下し、お湯がこぼれてやけどすることがあります。こぼれない様に注意してください。



ゆっくり確実に

■グリル水入れ皿だけを持って取り外さない。

グリルとびらが落下し、けが・やけどをすることがあります。ぬれぶきんなどで持ってもやけどの原因になります。
必ずグリルとびら取っ手を持って取り外してください。



禁止

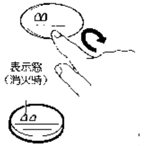
13 各装置・電池確認ランプについて

立消え安全装置

煮こぼれなどで火が消えると、ガスを自動的に止めます。

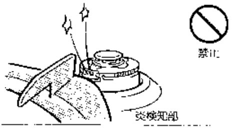
●立消え安全装置が作動したら

使用中、火が消えたときは？	すぐに操作ボタンを押し消火の状態にしてください。
再点火するときは？	周囲にガスがなくなるまでしばらく待って、炎検知部の汚れをふきとってからご使用ください。



お願い

- ●立消え安全装置（炎検知部）に水滴や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったり、消火することがあります。なべの底についた水滴はふきとってから、ごとくの上にのせてください。（煮こぼれにも注意してください。）
- ●炎検知部に固いものをぶつけないでください。まがったり、変形し点火しにくくなります。

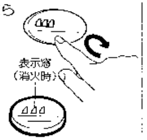


天ぷら油過熱防止機能

消し忘れ・来客対応などによる調理油の過熱によって起こる火災を防止します。

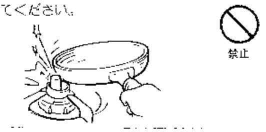
●天ぷら油過熱防止機能が作動したら

使用中、火が消えたときは？	すぐに操作ボタンを押し消火の状態にしてください。
再点火するときは？	なべや油が相当熱くなっていますのでやけどに十分注意して、水を入れたなべや水に浸した布などで温度センサーを冷やしてください。 熱いなべをのせたまま、再点火すると消火する場合があります。



お願い

- ●温度センサー部に強いショックを加えたり、キズをつけないでください。温度センサーが正しく作動しなくなる場合があります。
- ●温度センサー部はいつも清潔にしてください。
  温度センサー部には煮汁や水などをかけないでください。煮汁やゴミが付着したときは、布に水を浸し固くしぼってからふきとってください。また、なべややかんの底も清潔にしてご使用ください。
- ●温度センサーの動きが悪くなり、なべ底と密着しない場合には、点検・修理を依頼してください。

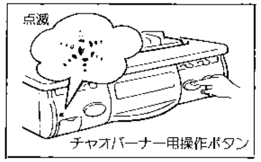


電池確認ランプ

乾電池の交換時期が近づくとお知らせする電池確認ランプが付いています。点滅したら新しい乾電池を用意し、点灯に変わったら交換してください。（P7参照）

- ●点滅から点灯に変わると使用できなくなりますので、乾電池を新しいものに交換してください。
- ●電池確認ランプは、チャオバーナーの操作ボタンを押したときだけ作動します。他の操作ボタンを押したとき、乾電池の容量が少なくなっていても点滅や点灯はしませんのでご注意ください。
- ●乾電池が正しくセットされていなかったり、乾電池に全く容量がなくなったときは、電池確認ランプは点灯しません。この場合、放電スパークの「パチパチ」音がしませんので、ただちに乾電池を点検してください。

図は、RN-A024PA-CHRAです。



お手入れのしかた 14

⚠警告 ■下記のお手入れする部品以外には、機器に手を加えない、絶対に分解しない。
ガス漏れや火災の原因になります。
分解禁止

お願い

- ■点検・お手入れの前には必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- ■お手入れの時は、けがをしないように手袋などをはめて行ってください。
- ■機器本体に水をかけたり、丸洗いしないでください。

日常の点検

- ■機器周辺に燃えやすいものが置いてありませんか
- ■ゴム管は傷んでいませんか
- ■立消え安全装置がよごれていませんか
- ■グリル水入れ皿に脂がたまっていませんか
- ■ゴム管の接続は確実ですか
- ■バーナーキャップ、しる受け皿などは正しくセットされていますか
- ■バーナーが煮汁などでつまっていませんか

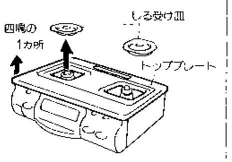
機器本体

■中性洗剤（食器・野菜洗い用）で汚れを落とし乾いた布で水気を十分ふきとります。

トッププレート・しる受け皿・ごとく

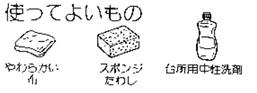
トッププレートはフッ素コートされています。
（万一フッ素コートがはがれても下地はステンレスですのでそのままお使いになれます。）

トッププレートの取り外しは、ごとく、しる受け皿、グリルガードを外し、トッププレートの四隅のどれか1ヵ所を持ち上げる。



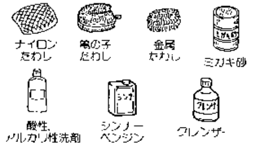
お手入れの時は

使ってよいもの


やわらかい布
スポンジたわし
台所用中性洗剤

使わないもの

禁止


ナイロンたわし
亀の子たわし
金属たわし
ミガキ砂
酸性、アルカリ性洗剤
シンナー
ベンジン
クレンザー

- ■使用後そのつど濡れぶきんでふきとってください。
- ■汚れのひどいとき
  中性洗剤を含ませたスポンジたわし・やわらかい布でお手入れし最後に乾いた布でふきとります。
- ■汚れがおちないとき
  中性洗剤で汚れた部分を湿らせておき、お手入れした後水洗いし乾いた布でふきとります。どうしても汚れがおちないときは何度もくりかえします。

お願い

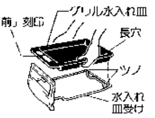
- ■汚れたまま使用しているとシミが残りますので、こまめにお手入れしてください。
- ■トッププレートのフッ素コートは、台所用中性洗剤以外の洗剤やかたいものでお手入れするとフッ素コートを傷め、傷・シミ・変色する原因になりますので注意してください。
- ■お手入れ後は、トッププレートの四隅をおさえ確実にセットしてください。
- ■トッププレートには安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり読めなくなったときはやわらかい布などで汚れをふきとってください。またお手入れの際にははがれないように注意してください。もし、はがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店、もしくはもよりの「東京ガス」で新しいラベルを再購入のうえ、張り替えてください。

15 お手入れのしかた

グリル水入れ皿・グリル焼網

■グリルとびらを別の場所においてそのつどお手入れする。(中性洗剤で洗って乾いた布で水気をふきとります。)

■グリル水入れ皿は「前」刻印を手前にし後部穴を水入れ皿受けのツノに入るようにセットします。



⚠注意

■脂が多量にたまると脂に引火し機器内部を焼損する場合があり危険です。

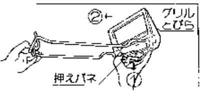
グリルとびら・グリルとびらガラス

■グリルとびら・グリルとびらガラスは、そのつど汚れを落とす(グリルとびらをはずすと便利です)。

■汚れのひどいときは中性洗剤でお手入れをし乾いた布で水気をふきとります。

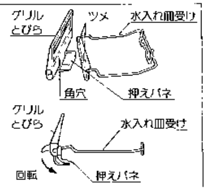
はずし方

①押さえバネを↓①の方向に下げる。
②グリルとびらを←②の方向にたおす。



取り付け方

①水入れ皿受けのツメ2ヵ所をグリルとびらの角穴にはめ込む。
②↘の方向に回転させる。
③押さえバネが水入れ皿受けに確実にはまっているか確認する。

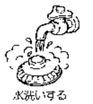


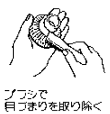
⚠注意

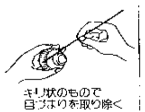
■グリルとびら、グリルとびらガラスはミガキ砂や金属たわしなどでこすらないでください。ガラスに傷をつけると割れることがあり危険です。

バーナーキャップ

■水洗いする
（煮こぼれで目づまりしたり、汚れがひどい場合は、ブラシまたはキリ状のもの（はり金）で掃除する）


水洗いする


ブラシで目づまりを取り除く


キリ状のもので目づまりを取り除く

⚠注意

■水洗いした後必ず水気をとること(異常燃焼の原因)

お願い

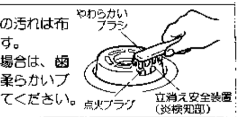
■バーナーキャップの黒い部分（炎口は除く）は中性洗剤、スポンジたわしで洗ってください。万一、黒い部分がはがれても使用にさしつかえありません。

■正常に燃焼するか確認してください。

点火プラグ・立消え安全装置

■煮こぼれなどの汚れは布でふきとります。

■汚れのひどい場合は、歯ブラシなどの柔らかいブラシで掃除してください。



お願い

■固いブラシではけっしてみがかない(故障の原因)

■水気は必ずふきとってください。

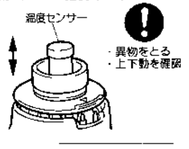
温度センサー

■温度センサーの頭部についた煮汁やゴミは、布を水に浸し固くしぼってからふきとってください。

⚠注意

■温度センサーのお手入れはこまめにおこなう、また上下にスムーズに動くことを確認する。

■異物がついていたり、温度センサーの動きが悪いとなべ底と密着しないため正常に機能が作動しないことがあります。



故障かな?と思ったら…… 16

次のことを調べてください。

現　象		原　因	処　置
点火しない		ガス栓の開き忘れ	お部屋のガス栓を全開にしてください。
		バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P７参照)
		乾電池が入っていないまたは正しくセットされていない	正しくセットしてください。(P７参照)
		電池ケースが確実に差し込まれていない	確実にセットしてください。(P７参照)
	チャオバーナー	温度センサーが高温になっている	温度センサーを冷やしてください。
		温度センサーの不良	点検修理を依頼してください。
点火しにくい		ガス栓の開き不十分	お部屋のガス栓を全開にしてください。
		配管中に空気が残っている	点火操作をくり返してください。 ※朝一番など点火するまでしばらく時間がかかります。
		ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	ゴム管の折れ曲がり、つぶれを直してください。
		バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P７参照)
		バーナーキャップの炎口づまり	炎口を掃除してください。(P15参照)
		点火プラグの水ぬれ、汚れ	水ぬれ、汚れを拭き取ってください。
点火後しばらくして消火する(チャオバーナー)		乾電池の消耗	新しい乾電池と交換してください。(P７、P13参照)
		温度センサーが高温になっている	温度センサーを冷やしてください。
		温度センサーの不良	点検修理を依頼してください。
異常音をたてて燃える		バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P７参照)
爆発的に点火する		バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P７参照)
使用中消火しやすい		立消え安全装置部分の汚れ	立消え安全装置を掃除してください。(P15参照)
黄炎で燃える		バーナーキャップの炎口づまり	炎口を掃除してください。(P15参照)
炎口が安定しない		バーナーキャップの取付不良	正しくセットしてください。(P７参照)
ガスの臭いがする		ゴム管の接続が不完全	ゴム管をしっかりと接続してください。
		ゴム管のひび割れ、穴あき	新しいゴム管と交換してください。

なお、異常のあるときやおわかりにならないときは、お買い求めの販売店、または
もよりの「東京ガス」にご連絡ください。不完全な処置は事故のもとになります。

⚠警告

使用中に異常を感じたときはすぐに使用を中止する
あわてずガス栓を閉めてください。

こんな場合は故障ではありません。

- ●はじめてグリルを使用しますとグリル内の加工油が焼けて煙が出ます。約15分くらい、から焼きすれば、それ以後煙はでません。
- ●点火の操作をしているとき、「パチパチ」という放電とともに電池確認ランプが薄く点滅することがありますが故障ではありません。
- ●朝一番など、長時間ガス栓を閉じていたときは、すぐに点火しないことがあります。機器配管内の空気が抜け、バーナーにガスが来るまで数回、点火をくり返してください。
- ●消火時に「ポン」という音がすることがありますが、これは火が消えたときの音で異常ではありません。

17 アフターサービス・仕様

アフターサービス

●修理を依頼されるときは	「故障かな?」の項をご確認いただいても直らない場合、あるいはよくわからない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの「東京ガス」にご連絡ください。修理依頼の際は、次のことをお知らせください。 (1) お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印等) (2) 品名…RN-A024PA-CHLA　機器コード…1673852 RN-A024PA-CHRA　機器コード…1671853 (3) 現象…点火しないなどできるだけ詳しく (4) 訪問ご希望日
●保証について	取扱説明書のP18が保証書になっています。必ず「販売店、お買い上げ日」などの記入をお確かめいただき、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。無料修理期間経過後の故障修理については、故障修理によって機能が維持できるときは、有料で修理いたします。(保証期間は、お買い上げ日から1年間です。ただし一般家庭以外で使用される場合は除きます。)
●補修用性能部品の最低保有期間について	補修用性能部品最低保有期間は、当製品の製造打切後5年間となっています。(補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。)
●転居されるとき	ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類(ガスグループ)が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、もよりの「東京ガス」または転居先のガス事業者にご相談ください。この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。
●アフターサービスなどについてわからないとき	お買い上げの販売店、またはもよりの「東京ガス」にご連絡ください。 裏表紙の事業所一覧表をご参照してください。

仕様

品名	RN-A024PA-CHLA	RN-A024PA-CHRA
型式名	RTS-4600GFSH-L	RTS-4600GFSH-R
種類	ガステーブル	
点火方式	連続放電点火式	
外形寸法	高さ213㎜×幅598㎜×奥行451㎜	
質量(本体)	12kg	
ガス接続	9.5㎜φガス用ゴム管	
安全装置	立消え安全装置 天ぷら油過熱防止機能	
附属品	単1形乾電池(2個) 取扱説明書(保証書付)	

使用ガス		1時間当たりのガス消費量　kW(kcal/h)			
使用ガスグループ		個別ガス消費量			全点火時ガス消費量
		チャオバーナー	標準バーナー	グリル	
都市ガス	12A	4.30kW (3700kcal/h)	2.50kW (2150kcal/h)	2.03kW (1750kcal/h)	8.50kW (7450kcal/h)
	13A	4.65kW (4000kcal/h)	2.67kW (2300kcal/h)	2.15kW (1850kcal/h)	9.30kW (8000kcal/h)

長期間使用しない場合のお願い

- ●お部屋のガス栓を必ず閉めてください。
- ●乾電池を外してください。
- ●お手入れをしておくと、次回使用するときに便利です。

保証書　18

保　証　書

型式名	RTS-4600GFSH-L RTS-4600GFSH-R

品名　RN-A024PA-CHLA・RN-A024PA-CHRA ガステーブル

上記、機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合、本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1)保証期間はお買い上げの日から1年間とし機器本体を対象とします。附属品は対象外です。
(2)万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。
(3)サービス員が参上した時に本証書をお示しください。
(4)保証期間中でありましても、次の場合には有料修理といたします。
　(イ)取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合。
　(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
　(ハ)火災、天災、地変等による故障、その他不可抗力による故障。
　(ニ)お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障。
　(ホ)機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造される場合。ただし当社都合の場合はのぞきます。
　(へ)本証書を紛失された場合。
(5)無料修理などアフターサービスについて、ご不明の場合はお買い上げの店または取扱説明書に記載してあるもよりの東京ガス支社、営業所にお問い合せください。

保証履行者　**東京ガス株式会社**　〒105　東京都港区海岸1—5の20
電話　代表　03（3433）2111

保証責任者　**リンナイ株式会社**　〒454　名古屋市中川区福住町2番26号
電話　代表　052（361）8211

■修理記録

年　月　日	修　理　内　容	サービス員印

■お買上日及び販売店名

お買上日	平成　　年　　月　　日	
販売店名		取扱者印
住所		
電話番号		

お客様へ

1. この保証書をお受け取りになる時に、お買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理につきましては、取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。